

# 2017 リゾナーレ音楽祭 プログラム Programme

第一日 6月20日【火】					
コンサートI	16:00～17:00	1 J.S.バッハ パルティータ 第4番ニ長調 BWV828 より 小林道夫 (Cemb)	2 J.S.バッハ オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ハ短調 BWV1060 小林 裕 (Ob)、白井 圭 (Vn)、フェスティヴァルアンサンブル	3 G.F.ヘンデル ドイツアリア集より 平松英子 (Sop)、服部芳子 (Vn)、河野文昭 (Vc)、小林道夫 (Cemb)	
コンサートII	17:30～18:30	1 ヒンデミット ヴィオラソナタ Op.11-4 佐々木 亮 (Va)、野平一郎 (Pf)	2 ブランク ヴァイオリンソナタ 砂原亜紀 (Vn)、野平一郎 (Pf)	3 ドビュッシー フルート、ヴィオラ、ハープのためのソナタ 佐久間由美子 (Fl)、佐々木 亮 (Va)、吉野直子 (Hp)	
コンサートIII	19:00～20:00	1 ベートーヴェン チェロソナタ 第4番ハ長調 Op.102-1 河野文昭 (Vc)、伊藤 恵 (Pf)	2 シューマン ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44 小山実恵 (Pf)、漆原朝子 (Vn)、服部芳子 (Vn)、佐々木 亮 (Va)、山崎伸子 (Vc)		
<b>ナイトサロン 22:15～ ホテルロビー</b>					
第二日 6月21日【水】					
チャペルコンサート	11:00～11:45	1 モーツアルト フルート四重奏曲 二長調 K285 佐久間由美子 (Fl)、玉井菜採 (Vn)、川崎和憲 (Va)、河野文昭 (Vc)	2 ベートーヴェン 弦楽三重奏曲 セレナーデ 二長調 Op.8 玉井菜採 (Vn)、川崎和憲 (Va)、河野文昭 (Vc)		
コンサートI	16:00～17:00	1 マルティナー オーボエ四重奏曲 H.315 小林裕 (Ob)、野平一郎 (Pf)、漆原朝子 (Vn)、山崎伸子 (Vc)	2 ヤナーチェク おとぎ話 山崎伸子 (Vc)、野平一郎 (Pf)	3 シュポア 6つのドイツ歌曲 Op.103より 平松英子 (Sop)、四戸世紀 (Cl)、野平一郎 (Pf)	
コンサートII	17:30～18:30	1 モーツアルト アダージオとロンド K617 小林道夫 (Pf)、佐久間由美子 (Fl)、小林 裕 (Ob)、川崎和憲 (Va)、山崎伸子 (Vc)	2 メシアン 世の終わりのための四重奏曲 白井 圭 (Vn)、四戸世紀 (Cl)、河野文昭 (Vc)、野平一郎 (Pf)		
コンサートIII	19:00～20:00	1 ブラームス 2つの歌 Op.91 寺谷千枝子 (Alt)、川崎和憲 (Va)、野平一郎 (Pf)	2 ブラームス ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op.25 伊藤 恵 (Pf)、砂原亜紀 (Vn)、川崎和憲 (Va)、河野文昭 (Vc)		
<b>ナイトサロン 22:15～ ホテルロビー</b>					
第三日 6月22日【木】					
チャペルコンサート	11:00～11:45	1 モーツアルト オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370 小林 裕 (Ob)、白井 圭 (Vn)、川崎和憲 (Va)、山崎伸子 (Vc)	2 ベートーヴェン 弦楽三重奏曲 二長調 Op.9-2 白井 圭 (Vn)、川崎和憲 (Va)、山崎伸子 (Vc)		
コンサートI	16:00～17:00	1 フュルステナウ フルートとハープのための幻想曲 Op.67	2 ブラームス 間奏曲 イ長調 Op.118-2	3 フォーレ 塔の中の王妃 作品110	4 サン=サンス ヴァイオリンとハープのための幻想曲 イ長調 Op.124
		5 ロータ フルートとハープのためのソナタ ニ長調 吉野直子 (Hp)、佐久間由美子 (Fl)、砂原亜紀 (Vn)			
コンサートII	17:30～18:30	1 シューベルト ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番ト短調 D.408 漆原朝子 (Vn)、小林道夫 (Pf)	2 シューベルト 歌曲 グレートヒエン、楽に寄せて、岩上の羊飼い、 佐々木典子 (Sop)、小林道夫 (Pf)、四戸世紀 (Cl)	3 シューマン 二重唱曲 「私が鳥だったら」「初めての出会い」他 佐々木典子 (Sop)、寺谷千枝子 (Ms)、野平一郎 (Pf)	
コンサートIII	19:00～20:00	1 シューベルト 幻想曲 へ短調 (ピアノ連弾) D.940 伊藤 恵 (Pf)、小林道夫 (Pf)	2 シューベルト 弦楽五重奏曲 ハ長調 D.956 玉井菜採 (Vn)、服部芳子 (Vn)、川崎和憲 (Va)、山崎伸子 (Vc)、河野文昭 (Vc)		
<b>ナイトサロン 22:15～ ホテルロビー</b>					



この音楽祭の人気メニュー。コンサート後、音楽祭出演のアーティスト達を囲み、ドリンクを片手に楽しいおしゃべりや思いがけない余興に身も心もリラックス。

## Information

### 星野リゾート リゾナーレ八ヶ岳



#### リゾナーレ音楽祭チケット料金 (1日券) (税・サービス料込)

大人 ¥6,200	学生 ¥3,100
-----------	-----------

※チャペルコンサート、ナイトサロンは入場無料

#### 宿泊パック料金 (税・サービス料込)

##### 宿泊代金 + コンサートチケットパッケージ

1泊2食付のご夕食はお食事場所により  
ご料金が異なります。

イタリア料理 ▶メインダイニング OTTO SETTE にて  
洋食ビュッフェ ▶「ビュッフェ&グリルレストラン YYgrill」にて

※ご朝食は全て「YYgrill」にて  
※ブール利用料は含まれません



##### スタンダードモダンタイプ (35m²)

	1泊朝食	1泊2食 (イタリア料理)	1泊2食 (洋食ビュッフェ)
1名1室	¥23,200	¥30,200	¥29,200
2名1室	¥17,100	¥24,100	¥23,100
3名1室	¥15,000	¥22,000	¥21,000

##### リニューアル

##### スタンダードテラスツイン・スタンダードトリプル (35m²)

	1泊朝食	1泊2食 (イタリア料理)	1泊2食 (洋食ビュッフェ)
1名1室	¥24,600	¥31,600	¥30,600
2名1室	¥18,600	¥25,600	¥24,600
3名1室	¥17,100	¥24,100	¥23,100

※スタンダードツインは2名定員となります

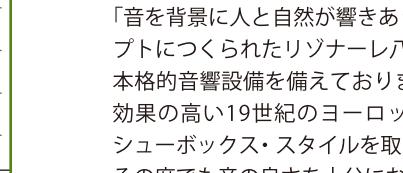
##### リニューアル

##### デラックスまたは2階レジデンステラス・3階レジデンスマザネット (70m²)

	1泊朝食	1泊2食 (イタリア料理)	1泊2食 (洋食ビュッフェ)
1名1室	¥27,200	¥34,200	¥33,200
2名1室	¥21,200	¥28,200	¥27,200
3名1室	¥17,600	¥24,600	¥23,600
4名1室	¥16,100	¥23,100	¥22,100

##### キャンセル料

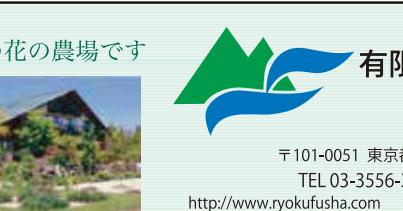
21日前～4日前	宿泊料金 (総額) の 10%
3日前～当日	宿泊料金 (総額) の 100%
当日 (連絡を頂いた場合)	宿泊料金 (総額) の 100%
当日 (連絡の無い場合)	宿泊料金 (総額) の 100%



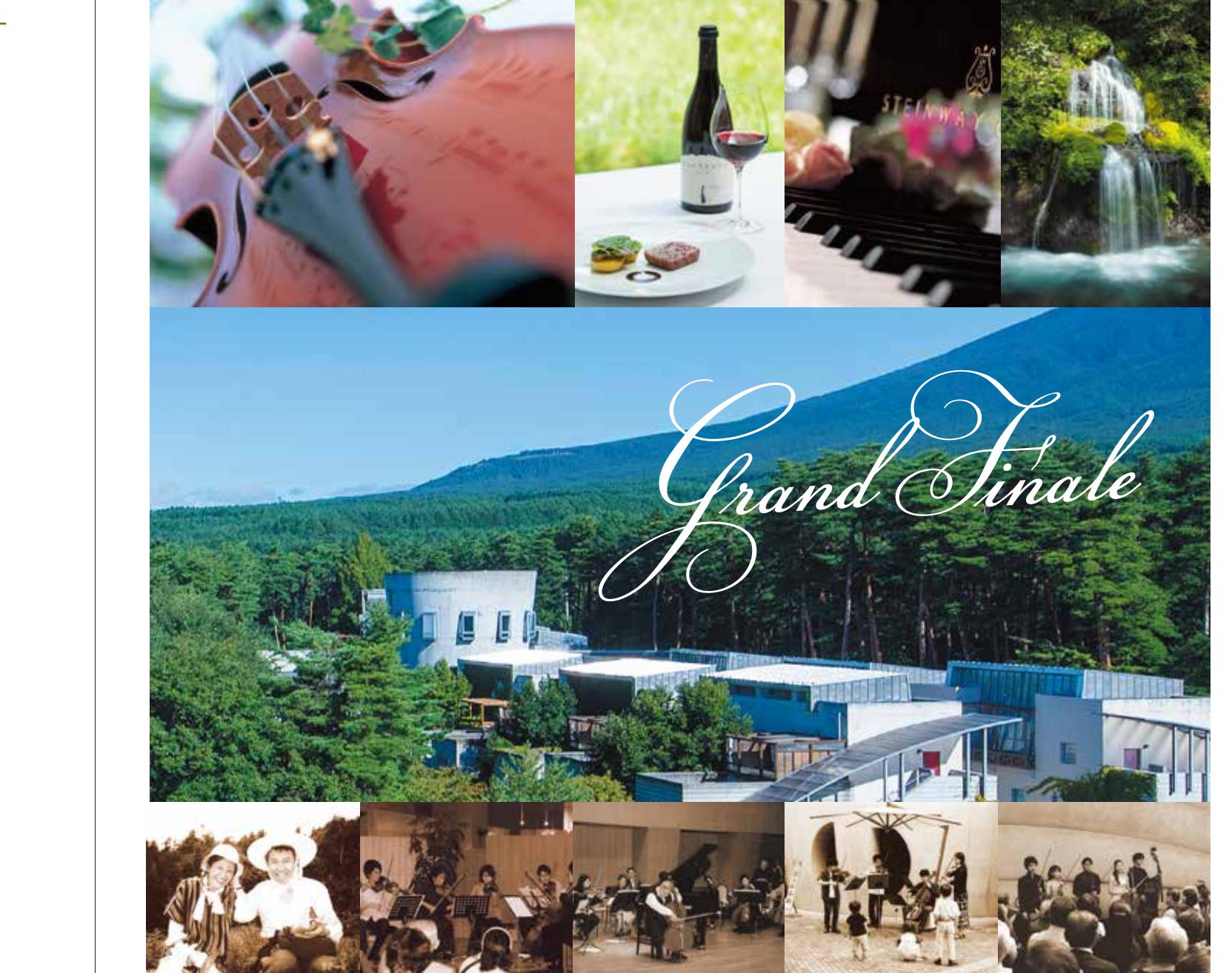
「音を背景に人と自然が響きあう音楽の森」をコンセプトにつくられたリゾナーレ八ヶ岳の音楽ホールは、本格的音響設備を備えております。設計には、音響効果の高い19世紀のヨーロッパの名ホールと同じシユーボックス・スタイルを取り入れており、一番後ろの席でも音の良さを十分にお楽しみいただけます。



- 新宿より車約2時間
- 電車 ICより車約1時間20分
- 中央道小淵沢 ICより車3分
- 名神高速
- JR小淵沢駅より車3分
- JR小淵沢駅よりシャトルバスあり



農業生産法人  
**有限会社 緑風舎**  
八ヶ岳花の原農場  
大泉ラン農場  
〒101-0051 東京都千代田区神田保町3-7-1  
TEL 03-3556-3056 FAX 03-3556-3057  
http://www.yokufusha.com E-mail info@yokufusha.com



# リゾナーレ音楽祭 2017

## 室内楽フェスティバル

6.20～6.22

TUE. THU.

## TEATRO GASTRONOMO

(音楽の森ホール)

音楽監督：岡山 潔

主催：星野リゾート リゾナーレ八ヶ岳

協賛：緑風舎



星野リゾート  
リゾナーレ八ヶ岳

# リゾナーレ音楽祭 最終回に寄せて ~25年の軌跡~

今年で最終回を迎えるリゾナーレ音楽祭は1993年の夏に始まりました。

その前年の1992年、小淵沢の森にイタリアの世界的建築家マリオ・ベリーニの設計による本格的リゾートホテル、「リゾナーレ小淵沢」が完成。その中に素晴らしい音響を持った「音楽の森ホール」が誕生したのです。ちょうどその数年前から、近くの長野県原村で若い弦楽四重奏団のための合宿セミナー＆コンサートを毎夏行っていた私たちにとってはまさに夢のような出来事でした。

早速、ホテル側の協力を得て「リゾナーレ高原音楽祭」がスタートし、国内や海外の第一線で活躍するアーティストたちと次代を担う期待の若手演奏家たちを迎えて、バロックから近現代までの名曲を中心に、知られざる興味深い作品などを積極的に取り上げる非常に意欲的な室内楽フェスティバルが、三日間に亘って「音楽の森ホール」で繰り広げられました。始まった当初は客席もまばらだったのですが、この音楽祭の評判が徐々に音楽ファンの中に広まって、順調に集客も増えています。また、コンサート後に演奏者と聴衆の皆さんがワインを片手にホテルのロビーで余韻を楽しむ「ナイトサロン」のコーナーが人気メニューとして定着し、第5回目からは、田辺秀樹さんのピアノ演奏も加わり、ワインのカフェにいるような素敵な雰囲気が漂い、魅力のポイントがさらにアップしました。

2004年には「リゾナーレ音楽祭」と名称を改め、時期も夏ではなく10月始めの平日に開催するという大きな転換を迎えたのですが、懸念された聴衆の減少には至らず、八ヶ岳連峰と南アルプスに囲まれた壮大な自然環境の中で、心地よい秋の風を満喫しながら思う存分室内楽の醍醐味を堪能できる、とさらに大勢の方々が詰めかけて下さいました。とにかく朝食のビュッフェに並ぶ八ヶ岳の高原野菜の新鮮で美味しいこと！また、グルメのお客さんを唸らせるメインダイニング「OTTO SETTE」。2008年からはチャペルでのお昼のコンサートも始まり、いつも超満員の盛況。そしてピーマン通りでの洒落たショッピングや野外演奏など楽しさがいっぱいのこの音楽祭も今年で早くも25年目を迎えました。これまでの発展はなんと言っても毎回、卓越した演奏を披露してくれたアーティストの仲間たち、それと全国各地から毎年、集まって来て下さった熱心な聴衆の皆様の温かいご支援の賜物に他なりません。そしてこの多彩で素晴らしい演奏空間を提供して下さった主催者リゾナーレ八ヶ岳、そして音楽祭担当のスタッフ皆さんの献身的なサポートがあったからこそその成果だと思います。

本当にありがとうございました！最終回となる今回は100名を超えるこれまでの総出演者たちの中核をなす方達が駆けつけて下さいます。その演奏の一つ一つに皆様と共に耳を傾けながら、音楽祭のグランドフィナーレをじっくりと味わえたらと願っております。



リゾナーレ音楽祭 音楽監督 岡山 潔

## 音楽監督 岡山 潔

東京芸術大学及び大学院修了。DAAD奨学生としてドイツのハンブルク音大に留学。1971年から13年間、ボンのベートーベンハ管弦楽団第1コンサートマスターを務める。1984年から読売日本交響楽団の第1コンサートマスターに就任。1990年～2010年まで東京芸術大学教授を務める。エレオーネ弦楽四重奏団、岡山潔弦楽四重奏団を主宰。現在、神戸市室内合奏団音楽監督、TAMA音楽フォーラム代表、札幌ふきのとうホール音楽監督、東京芸術大学名誉教授。

## Profile

### アーティストプロフィール

#### 寺谷 千枝子（メゾソプラノ）

東京芸術大学卒、同大学院修了。ハンブルク国立音楽大学声楽科、オペラ科共に首席で卒業。在学中、メスフィールド賞受賞。1980年セルトヘンボス国際声楽コンクール第2位入賞。ブレーマーハーフェン歌劇場とソロ専属契約を結び、「ばらの騎士」のオクタヴィアンでデビュー。以後ドイツを中心にヨーロッパの歌劇場で活躍。また世界的のブームとなったグレツキ「悲歌のシンフォニー」をドイツ、アメリカ等各國で初演。日本でもボッセ、フルネ、インハル、デュトワ、チョン・ミンラン、小澤征爾、若杉弘、大野和士ら著名指揮者と共に演、役作りと音楽の読みの確さ、安定した歌唱は、常に高い評価と信頼を得ている。東京芸術大学名誉教授。



平松 英子（ソプラノ）

東京芸術大学、同大学院修了。DAAD給費生として渡欧。ミュンヘン音楽大学マイスタークラス修了。「ヨハネ受難曲」、歌劇「魔笛」（パニーナ）でドイツ デビュー。宗教曲のソリストとしてヘルマン・ブライ、ベーター・シュライアーア、エディット・マティス 他と共に演。オペラでは、「魔弾の射手」「オルフェオエウリディーチエ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「死をこえて」他に出演。CD「4つの愛のマドリガリ」「3つのオフェーリアの歌」「レクイエム」（モーツアルト）、「ドイツ・レクイエム」（ブームス）、「天地創造」「四季」「ハイドン」、「恋歌」（細川俊夫）、「美しいことの歌」（湯浅譲二）他。ジロー・オペラ新人賞。現在 東京芸術大学音楽学部教授、洗足学園音楽大学講師。



佐々木 典子（ソプラノ）

武蔵野音楽大学卒業、ザルツブルクのモーツアルテウム芸術大学オペラ科修了。その後、ウィーン国立歌劇場とソリスト契約。同歌劇場の日本公演、ザルツブルク音楽祭公演の他、ヨーロッパ各地の劇場、及びコンサート歌手としても活躍。帰国後は、二期会、数々の団体の公演に出演。特に、R・シュトラウスの作品は、重要な位置をしめ、その卓越した音楽性と表現力は、世界的巨匠をはじめとする共演者からも常に尊敬と信頼の対象とされている。CDオールR・シュトラウスのプログラム「四つの最後の歌」。東京芸術大学音楽学部教授。二期会会員。



小林 道夫（ピアノ）

東京藝術大学卒業。デトモルト音大に留学。フィッシャー・ディスカウ、ヘフリガー、ランバーレ、ニコレ、フルニエ、スク等の芸術家と共演。G.ムーラに比肩する名伴奏者として世界に知られる。また、バロックや古典派の演奏、研究においても貴重な存在である。第1回サントリー音楽賞。ザルツブルク国際財団モーツアルト記念メダル。モービル音楽賞受賞。国立音楽大学大学院教授、東京藝大客員教授を歴任。現在 大分芸術文化短期大学客員教授。



野平 一郎（ピアノ）

東京藝術大学、同大学院作曲を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとしては内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、多くの国際的名手たちと共に演し、室内楽奏者としても活躍。80曲以上に及ぶ作品の中には、フランス文化庁、アンサンブル・アンテルコンタンボラン、IRCAM、ベルリンドイツ交響楽団、モントリオール交響楽団、国立劇場その他の委嘱作品がある。第13回中島健蔵音楽賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞、第35回サンタリーヤ音楽賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第44回、第61回尾高賞を受賞。2012年には紫綬褒章を受章。現在、静岡音楽大学AOI芸術監督。東京藝術大学作曲科教授。



小山 実稚恵（ピアノ）

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキイ、ショパンの二大國際コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンセルト、リサイタル、室内楽と共に第一線で活躍し続けている。2006年から全国6都市にて行われている「12年間・24回リサイタル・シリーズ」が、本年よいよ12年目を迎える。2011年の東日本大震災以降、被災地で演奏を行っており、2015年夏より被災地活動の一環として自ら企画立案したプロジェクトが、仙台においてスタートした。CDはソニーによりリリースしており、2017年5月には、30枚目の『パッハ・ゴルトベルク変奏曲』をリリース。2005年度 文化庁芸術祭大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞、2015年度 文化庁芸術祭優秀賞を受賞。



伊藤 恵（ピアノ）

83年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン国立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。ミュンヘン・シンフォニカ、フランクリフト送信響、ヘルツ響、チェコ・フィルの定期公演に出演。日本ではN響をはじめ、各オーケストラと共に演。録音はシマーマン・ピアノ全曲録音他多数。07年秋、シマーマン・ピアノ全曲録音完成記念コンサートを行う。「シユーベルト ピアノ作品集6」が15年度レコード・アカデミー賞(器楽部門)、第70回文化庁芸術祭賞を受賞。08年から15年までシユーベルトを中心としたリサイタルを開催。93年日本ショパン協会賞、94年横浜市文化賞奨励賞受賞。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。



服部芳子（ヴァイオリン）

東京藝術大学付属高校、同大学を経て同大学院を終了し、1968年ハンブルク音楽大学に留学。1971年ベルリンにてメンデルスゾーンコンクール弦楽四重奏部門1位。同年ブリュッセルにてイザイメダル受賞。ボン弦楽四重奏団、ジャパン・ストリングトリオのメンバーとして多彩な活動を行う。1983年、帰国後はエレオーネ弦楽四重奏団、2008年より岡山潔弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。また愛知県立芸大で後進の指導にあたり、現在同大学名誉教授。



漆原 朝子（ヴァイオリン）

東京藝術大学付属高等学校在学中に日本国際音楽コンクールで最年少優勝。ジュリアード音楽院卒業。88年N響定期公演デビュー、ニューヨークでもリサイタル・デビューでも絶賛を博す。マールボロ音楽祭でドルトル・ゼルキン等と共に演、ザルツブルク音楽祭などにも登場し、内外のオーケストラとの共演も多い。ベリー・スナイダー(Pf)とは20年以上にわたってデュオを組んでおり、2003年以後 シューマンとブームスのヴァイオリン二重奏曲全曲ライヴCD、オール・シユーベルトやサン・サンス&ルーカのソナタのCD等をリリース。モービル音楽賞奨励賞、文化庁芸術祭優秀賞受賞。現在、東京藝術大学教授。



玉井 菜採（ヴァイオリン）

桐朋学園大学在学中に、ブラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門に優勝。卒業後、アムステルダムでヘルマン・クレバース氏に、また、ミュンヘン音楽大学にてアナ・エマ・エンコ氏に師事。J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シバリウス国際ヴァイオリンコンクールなど、数々のコンクールに優勝、入賞している。平成14年度文化庁芸術祭賞新人賞受賞。ソリスト、室内楽奏者、また紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、アンサンブルofトウキョウ、東京クラシスアンサンブルのメンバー、として幅広く活躍している。東京藝術大学准教授。



砂原 亜紀（ヴァイオリン）

東京藝術大学附属高校、同大学を経て同大学院修了。岡山潔、G.Bosseの各氏に師事。在学中、安宅賞受賞。大学を首席で卒業する。第41回バガニア国際ヴァイオリンコンクール特別賞。第10回J.S.バッハ国際コンクール第3位（1位なし）。ドイツ政府給費留学生(DAAD)としてフライブルク音楽大学に留学、ライナー・クスマウル氏に師事。2000年よりバンベルク交響楽団第2コンサートマスターに就任、現在に至る。師のクスマウル氏と共にモーツアルト弦楽五重奏曲全曲演奏のCDは高い評価を得ている。



白井 圭（ヴァイオリン）

東京芸大附属高校で、同大学を卒業。日本音楽コンクール第2位及び増沢賞受賞。2007年より、文化庁海外派遣員としてワイン音楽演劇大学に留学。ARDミュンヘン国際音楽コンクール第2位及び聴衆賞受賞。ワイン国立歌劇場の契約団員を半年間務める一方、ソリストとして、数々のリサイタルや、チェコ・フィルや新日本フィルなど内外のオーケストラと共に演。田中千香士レボリューションアンサンブル音楽監督・指揮者を務めるほか、Stefan Zweig Trio、Ludwig Chamber Players メンバー、神戸市室内合奏団コンサートマスター。



田辺 秀樹（ピアノ）

幼少時よりピアノを習う。東京大学文学部でドイツ文学を専攻。1978年から80年にかけてドイツ留学中、オーストリアの保養地バート・イシュルでしばらくの間、ピアノの演奏に魅了され、それ以来、古き良きヨーロッパのサロン・ピアノのスタイルの継承を志す。2012年まで一橋大学言語社会研究科教授。著書に『モーツアルト』、『モーツアルト、16の罪』、『やさしく歌えるドイツ語の歌』、訳書に『グエルの真実』、『オペラ対訳』『ばらの騎士』、『同くうもり』ほか。近年は酒席ピアニストとして、ワインのカフェや日本のリゾートホテルなどで演奏も行っている。2016年12月、デビューCD「ワイン、わが夢の町」をリリース。



川崎 和憲（ヴィオラ）

東京藝術大学付属高校、同大学及び大学院修了。1977年東フィルの首席ヴィオラを務める。民音コンクール（室内楽部門）で第2位。ベルリン芸術大学に留学。帰国後、N響に入団。1983年ゼフィルズ弦楽四重奏団結成。カザルスホールのレジデンスクアルテットとして活躍。2005年、首席奏者として永年務めたN響を去り、現在、東京藝術大学教授。



佐々木 亮（ヴィオラ）

東京藝術大学付属高等学校を経て東京藝術大学卒業。1991年、現音室内楽コンクール第1位、1992年、東京国際室内楽コンクール（民音）第2位、芸大在学中、安宅賞受賞、芸大オーケストラと共に演奏。アスペン音楽祭、マルボロ音楽祭に参加。2004年NHK交響楽団入団、2008年より首席奏者。アボロ弦楽四重奏団、東京クラシス・アンサンブル、2008年から2014年まで岡山潔弦楽四重奏団メンバー。2016年9月にはRCA/Sonyよりバーヴォ・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団、チェリストトゥルルス・モルクとの共演によるR.シュトラウスの『ドン・キホーテ』がリリースされた。また桐朋学園にて後進の指導に当たっている。



山崎 伸子（チェロ）

桐朋学園大学卒。齋藤秀雄、レイヌ・フラショー、堤剛、安田謙一郎、藤原真理各氏に師事。第1回民音室内楽コンクール第1位、第44回日本音楽コンクール、チェロ部門第1位。1979年より2年間ジュネーブでピエール・フルニエ氏に師事。帰国後はリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など幅広く活躍を続けている。特にイギリス室内楽管弦楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、バンベルク交響楽団との共演や、チェロ連続リサイタルなどで高い評価を得ている。村松賞、グローバル音楽賞奨励賞受賞。2001～2014東京藝術大学教授。現在、桐朋学園大学特任教授。



河野 文昭（チェロ）

京都市立芸術大学にて黒沼俊夫に師事。第50回日本音楽コンクール第1位。1982年文化庁在外派遣研修員として渡米。その後ワインでA.ナヴァラに師事。1980～1993年福岡モーツアルトアンサンブル（弦楽四重奏）メンバー。現在、アンサンブルofトウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団のメンバー。1993～2003年「ゆふいん音楽祭」音楽監督を務める。現在、東京藝術大学教授。2008年から岡山潔弦楽四重奏団メンバー。



吉野 直子（ハープ）

世界のハープ界で最も注目されている逸材。第9回イスラエル・コンクールに17歳で優勝。ペリーン・フィル、イスラエル・フィル、フィラデルフィア管弦楽団などトップ・オーケストラおよび小澤、アーノンクーリー、ブーレーズ、アバドほか世界的指揮者との共演、また、G.クレーメル、V.ハーゲン、C.ハーゲン、W.シュルツ、E.バコ、等一流アーティストとの室内楽、ザルツブルク、ルツェルン、ロッケンバウス、グスタード、サイトウ・キネンをはじめ主要音楽祭への参加など華やかに活躍。数々のCDも高く評価されている。最新盤はオーケルニユ室内管弦楽団の協奏曲集(Aparte)と「ハープ・リサイタル2～ソナタ、組曲と変奏曲」(grazioso)。



佐久間 由美子（フルート）

1982年東京藝術大学附属高校よりパリ国立音楽院に入学。84年満場一致のブルミエ・ブリを得て卒業。83年ランバール国際コンクール第1位、およびショゼフ・ランバール賞を受賞。84年ボルドー国際フェスティバル・メダル受賞。85年第1回神戸国際フルートコンクール第2位入賞。以後、ソリストとして活躍するほか、N響をはじめ日本各地の主要オーケストラと数多く協演している。特に室内楽の分野では、フルート音楽の可能性を探る意欲的な活動が高く評価